財団法人板橋区中小企業振興公社は板橋区産業の将来像 “夢に形を産業文化都市いたばし”の実現に向け、積極的に支援します

「ハイライフいたばし」会員1万人キャンペーン実施中！

「ハイライフいたばし」は中小企業で働く方々のための福利共済制度です。
単独では従業員への福利厚生事業の実施が困難な中小企業を対象に、さまざまなサービスを会員価格で提供しております。

○宿泊補助（年度10泊）・宿泊施設（全国約4100箇所）
○遊園地・レジャー施設割引　○スパ・スポーツクラブ利用補助
○健康診断実施、人間ドック補助　○チケット割引あっせん
○就学お祝い・入院等のお見舞いなどの給付事業も行っております。

◆加入できる方：区内の従業員300人以下の中小企業
◆加入金：1人／200円・納付金：1人／月額500円

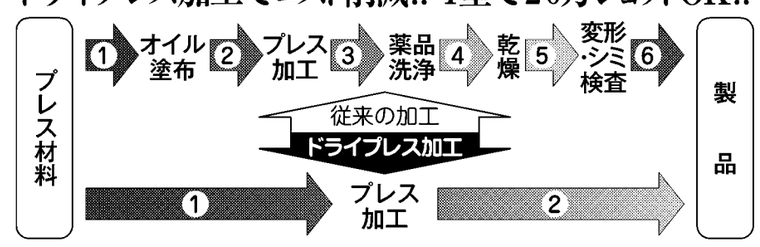
申込・問い合わせ先　東京都板橋区板橋1-55-16（板橋区立ハイライフプラザ内）☎03-5375-8102

板橋区の事業紹介

○産業融資　各種融資メニューがあります。一部を除き、区が利子補給を行います。
○経営・金融相談　経営に関する身近な相談窓口として、相談事業を実施しております。
※月曜日から金曜日、午前9時から午後5時まで、予約制、費用は無料

財団法人板橋区中小企業振興公社
〒173-0004 東京都板橋区板橋2-65-6（板橋区情報処理センター5階）☎03-3579-2175　URL http://www.itabashi.or.jp/

ドライプレス加工でコスト削減!! 1型で20万ショットOK!!

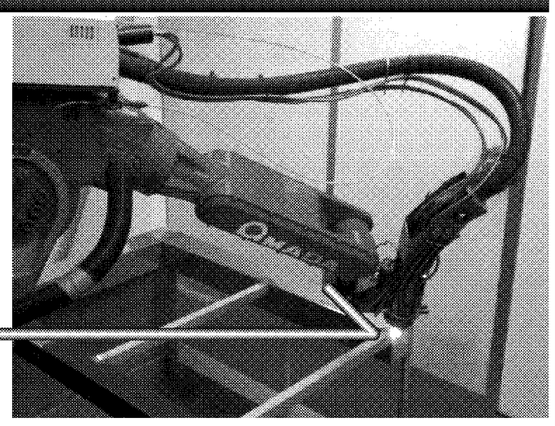


マイクロパンチング・地球に優しいドライ加工・SUNS カードケース
山陽プレス工業株式会社　ISO14001・9001認証済
本社　〒114-0023 東京都北区滝野川6-12-4　電話 (03)3916-0651
茨城工場　〒300-0506 茨城県稲敷市沼田2755　電話 (029)892-8582

薄板金属加工なら㈱スガヌマにお任せ下さい

試作　特急　変種変量

確かな技術で
お客様のニーズにお応え致します



精密板金加工

お陰様で50周年を迎えました
株式会社スガヌマ
http://www2.odn.ne.jp/suganuma/

本社東京工場
〒175-0081 東京都板橋区新河岸1-15-4
TEL 03-3936-1130㈹
FAX 03-3936-2800
info-tokyo@tec-suganuma.co.jp

北東京6区の産業活性化支援策

豊島区　官民で中小企業支援

豊島区は2010年4月に中小企業の支援部署「としまビジネスサポートセンター」を開所した。地域の金融機関と協働し、ワンストップサービスを実現。相談に訪れる中小企業に対してさまざまな支援を行っている。全国的にも珍しい取り組みで、視察も多いという。

毎年開催の「としまものづくりメッセ」。伝統工芸の体験教室などが行われる（昨年3月）

支援の内容は融資から経営、起業、販路開拓まで幅広く扱っている。中でも、多くの中小企業が悩む販路開拓や売り上げ向上の問題については、センター内のすがも事業創造センター（S－biz）に常駐するビジネスコーディネーターがきめ細かく支援することで、実績をあげている。相談企業の区内外は問わない。

また、毎年春に開催している産業見本市「としまものづくりメッセ」は今年で5回目を迎える。今年度は99社・団体が出展し、ファミリーマートや東急ハンズの担当者による講演などが開催される。

練馬区　アニメ産業を支援

練馬区は日本のアニメーション産業発祥の地として、区内には関連企業が90社以上集まり、日本一のアニメ産業の集積地だ。練馬区ではアニメ産業の支援を継続して行っている。2011年度には一定規模のアニメ関連企業を区内に誘致する制度を設けたほか、アニメ事業者に特化した特別貸し付けも行った。

区民向けにも、練馬区の公式アニメキャラクター「ねり丸」を使った取り組みが進んでいる。昨年11月に行われた「練馬アニメカーニバル」ではねり丸を使った短編アニメを放映。また、アニメ産業と教育の連携事業として区内の小学校でアニメーターなどを招いた授業を行っている。

中野区　コンテンツ産業振興

中野区の中心部にある中野駅周辺では、現在大規模な大開発が進んでおり、今春には大型オフィスビルが開業する。これに合わせ、区内企業が連携した新しい取り組みが動きだす。

4月に区内の情報通信技術（ICT）・コンテンツ業者や大学・専門学校などにより産学公連携組織「中野コンテンツネットワーク」が設立される。中野区はICT・コンテンツ産業が集積しており、演劇やお笑い、音楽などの文化表現活動が盛んで、これまで横のつながりが薄かった企業同士が連携し、「中野ブランド」の発信や人材育成などに取り組んでいく。

また、中野はサブカルチャーの聖地として、国内外から多くの観光客が訪れている。こうした背景から、区内事業者の有志らが3月に「中野区観光協会」を設立する。民間主導による観光協会の設立は珍しく、設立後は中野らしい特産品を開発、販売して自主財源による運営を目指す。

「中野コンテンツネットワーク」キックオフイベント

北区　独自技術など表彰

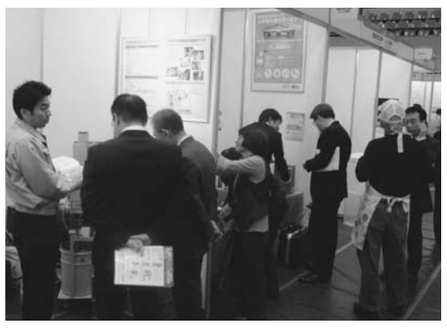
北区は化学、金属、精密機械をはじめとしてさまざまな業種があり、大手企業の事業所だけでなく、技術レベルが高く、独自技術を持つ研究開発型の中小企業も多い。北区ではこうした企業を「北区きらりと光るものづくり顕彰」として、毎年表彰している。昨年からは「きらめき企業部門」と「きらめきの技人部門」に分けて、企業、人物をそれぞれ表彰している。

「北区きらりと光るものづくり顕彰」で優れた区内企業や人を表彰（昨年2月の受賞式）

また、2017年度に東洋大学の情報工学部が区内へキャンパスを移転するのに向けて、連携に向けた下地づくりも進んでいる。昨年秋には区内事業者が同大学の川越キャンパスを訪問した。教授らと直接話し、双方の理解を深める機会となった。

また、区内企業の情報や技術を集めたデータベースを構築するため、必要な調査も進めている。調査の結果は今年度末にまとまる予定で、今後の産業振興策に生かしていく。

板橋区　製造業と共生推進



15回目を迎えた「いたばし産業見本市」（昨年11月開催）

板橋区は光学・印刷業をはじめとした製造業が盛んで、区内には大手の工場から中小企業がある。2月には第一工場ビル内に「板橋産業技術支援センター」を開業する。高機能マイクロスコープや接触3次元表面粗さ測定器などのさまざまな検査機器を整備。技術相談員も常駐し、利用者からの相談にも乗る。

また、板橋区は多くの住宅地やマンションが立ち並び、住工共生も課題となっている。特に工場が集積する新河岸地区では、工場の移転した跡地に高層マンションや娯楽施設が建設されたことから、地域住民と事業者が一緒になって「まちづくり検討会」を設立。要望を提出し、11年12月に地域内の高層・大型建築物の建設を規制する都市計画が定められた。

また、区民が区内の製造業に関心を持ってもらうと、区が旗振り役となって中小企業の工場見学可能企業をリスト化し、区のホームページで紹介している。

杉並区　産業振興へ拠点設置

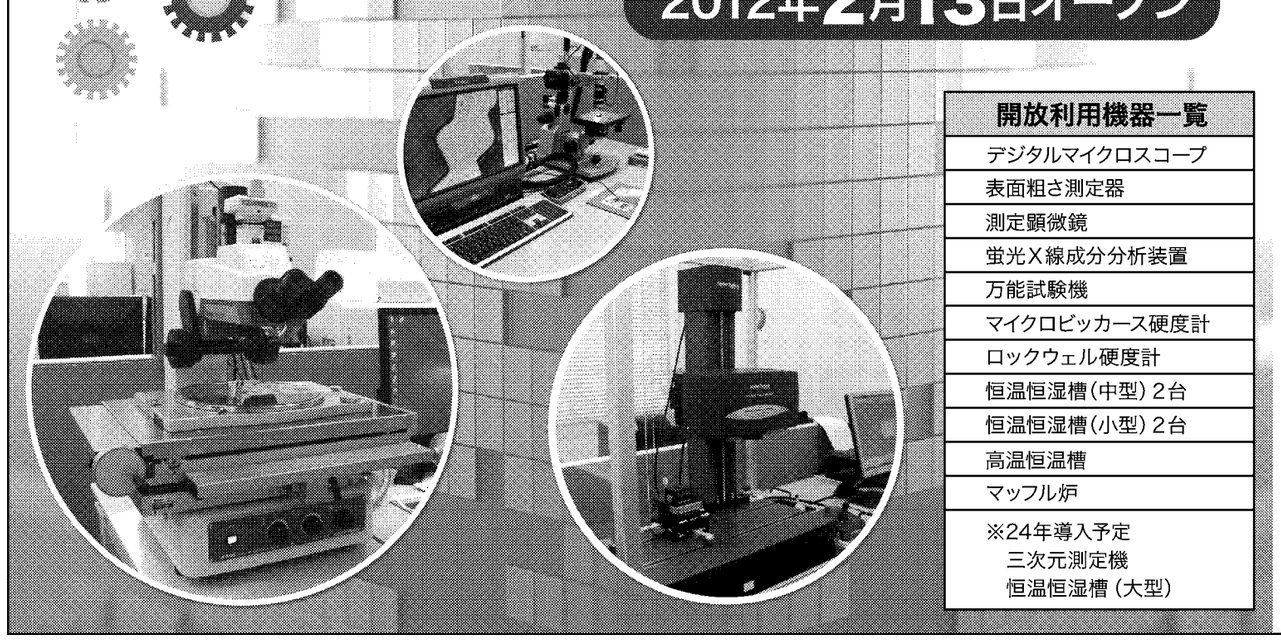
杉並区は区と関係団体が日常的に協働して区内産業の振興を促進する「産業振興センター（仮称）」を設置する。5月をめどに産業振興課を荻窪駅近くのオフィスビルに移転し、同じフロアに東京商工会議所杉並支部や杉並産業協会などの商工団体も移る。これにより、産業振興の基盤を整備する。また、中小企業に関わるさまざまな相談をワンフロアで受けられるようになり、利用者の利便性が向上する。

区内にはアニメ関連企業も多く、区では以前からアニメ産業振興施策を行ってきた。今後は施策を再構築し、アニメ製作者の人材育成やアニメを活用した商店街の活性化などに取り組む考えだ。

ものづくり企業の高度化を支援

板橋産業技術支援センター

2012年2月13日オープン



開放利用機器一覧
デジタルマイクロスコープ
表面粗さ測定器
測定顕微鏡
蛍光X線成分分析装置
万能試験機
マイクロビッカース硬度計
ロックウェル硬度計
恒温恒湿槽（中型）2台
恒温恒湿槽（小型）2台
高温恒温槽
マッフル炉
※24年導入予定 三次元測定機 恒温恒湿槽（大型）

板橋産業技術支援センターは様々なサポートで、ものづくり企業の皆様を支援します。

計測検査機能
開放利用機器として、精密測定・環境・耐久性試験、成分分析等の機器を設置し、技術力・製品品質・環境性能等の向上を支援します。

技術相談機能
企業の皆様が抱える技術課題を身近に相談出来るよう、技術相談員を配置します。

連携交流機能
大学等研究機関との交流、共同研究、企業間交流等を通じ、産学公連携の場を提供します。

人材育成機能
機器操作研修や分析評価の指導等を通じて、人材育成を行います。また、技術系講座・セミナー等を開催します。

板橋産業技術支援センターは、東京都板橋区が運営しています。

お問い合わせ
板橋産業技術支援センター
（区立生活産業融合型第一工場ビル4階）

■住　所　〒174-0041東京都板橋区舟渡3-5-8
区立生活産業融合型第一工場ビル4階
■アクセス　都営三田線　蓮根駅　徒歩11分
ＪＲ埼京線　浮間舟渡駅　徒歩15分

お気軽にお問い合わせください
☎03-3960-2800,2801
FAX：03-3960-2802　Eメール：sg-ikusei@city.itabashi.tokyo.jp
受付時間：午前9時～午後5時（土日祝日、年末年始を除く）